

るみ子の議会報告

2010年度 ①

- ★ 民生環境常任委員会委員長
- ★ バイパス特別委員会委員
- ★ 青森地域広域消防事務組合議会議員
- ★ 西部地区下水道期成同盟会顧問

- 「肢体不自由児や重症心身障害児・者の病棟があり、外来、通所でリハビリが出来るあすなろ医療療育センターの医師を浪岡の国立病院に集約し、センターを『福祉型』に切り替えるという県の計に「授業終了後に浪岡までいかなければならないのか」などと不安の声が広がっている」と「重症心身障害児らのいのちを守り育ててきたセンターの機能低下や第一養護と切り離れた計画であってはならない。市は保護者らの声をよく聞いて県に働きかけるよう』求めました。
- 障害者への応益負担は廃止をし、福祉サービスも医療も無料にすべき。あらたな制度ができるまで、課税世帯の負担軽減策を求める。地域活動支援センターへの市の支援を継続するよう求める。
- 消防施設の358件の修繕箇所の解消を求め続けてきたのに対して、木原消防長は「36件は改善済み。早急に改善すべき指摘され、まだ修繕が済んでいない23件を最優先に進める」「残りは5カ年計画でやり、そのうち業者発注は、19件619万円、営繕職員がおこなう軽微なものは280件55万円」と答弁。鹿内市長からは「計画はあるが早くやれるものは早くやる」と答弁がありました。
- 7人の犠牲者を出した札幌市のグループホーム「みらいとんでん」の火災を取り上げ「小規模施設にもスプリンクラーの設置が必要。当直も二人にすべきと」と指摘し「国に現場の声を上げるよう」求めました。
- 健康福祉審議会で「低所得者でも入れる特別養護老人ホームが必要。ユニット型だけでなく、多床室も組み合わせた特別養護老人ホームの整備」を求める。



壇上からの一般質問



市の建物定期検査で修繕箇所が37カ所も指摘された新城分署。建て替えも急がれています。



3月15日、油川市民センターで行われた議会報告会